

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY+ 山科校		公表日		2025年 1月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	定期ミーティング等で議論を重ね、PDCAが回せる環境整備をおこなっている	左記を継続的に実施する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	定期ミーティング等で議論を重ね、PDCAが回せる環境整備をおこなっている	左記を継続的に実施する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	一部通路が狭く、歩きにくい箇所があるため職員間で声掛け等をおこない、事故防止を徹底している	テナントの構造上、修繕は不可のため、従業員で常時声を掛け合い不具合がないよう継続する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	定期ミーティング等で議論を重ね、PDCAが回せる環境整備をおこなっている	左記を継続的に実施する	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	一部通路が狭く、歩きにくい箇所がある	テナントの構造上、修繕は不可のため、従業員で常時声を掛け合い不具合がないよう継続する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	定期ミーティング等で議論を重ね、PDCAが回せる環境整備をおこなっている	左記を継続的に実施する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	定期的な面談・保護者会を開催し意見交換を図り、支援に繋げている	保護者との意見交換内容を、常勤職員・非常勤職員問わず、タイムリーに周知・現場反映できるようにデジタルツール等を更に強化する	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期ミーティング等で議論を重ね、PDCAが回せる環境整備をおこなっている	左記を継続的に実施する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	開所1年未満のため、保護者評価は初となり今後外部評価を反映し、質の高い事業所運営を図る	左記を継続的に実施する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	定期的なグループ研修に加え、行政が開催する研修にも積極的に参画する	京都市の研修に留まっているため、滋賀県・大阪府等の研修にも積極的に参画し知見を広める	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	HP等の公表に加え、お子さまそれぞれに対する支援プログラムの追加・変更も都度保護者と連携を図る	左記を継続的に実施する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	各支援の質を向上させることに加え、地域が一体となって支援体制を構築できるように周辺関係機関とも連携を図っている	左記を継続的に実施する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	児童の特性を見極め、画一的なグループ構成にならないよう拝領をおこなっている	左記を継続的に実施する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	時間管理・細部の声掛けを行いながら、都度変化対応をおこなっている	左記を継続的に実施する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	都度ミーティング・意見交換を図れるような風土醸成を図っている	常勤職員・非常勤職員問わず、タイムリーに周知・現場反映できるようデジタルツール等を更に強化する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援終了後、記憶な鮮明な内に記録をとれるような配置をおこなっている。	左記を継続的に実施する
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期ミーティング等で都度議論を重ね、画一的な支援にならないよう議論を行い支援計画を作成している	左記を継続的に実施する
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	特に児童が通う関係機関連携を強化し、進捗共有を図りながら支援に繋げている	左記を継続的に実施する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	特に児童が通う関係機関連携を強化し、進捗共有を図りながら支援に繋げている	更なる医療機関との関係構築が必要なため、今後保護者と一体となり接点拡大を図る
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	特に児童が通う関係機関連携を強化し、進捗共有を図りながら支援に繋げている	左記を継続的に実施する
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	保護者との進路相談等を早めにおこなうことで素早い情報交換をおこなっている	周辺エリアの情報共有に留まっており、遠方の小学校の情報量が少ないため、幅広い情報収集を図る
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			センターのみ	センターのみ
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			センターのみ	センターのみ
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			センターのみ	センターのみ
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	地域の関連機関と連携を図り、定期的な情報発信をおこなっている	情報共有エリアが限定的なため、今後は収集エリアの拡大を推進する
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	定期的に地域の関連機関と連携を図ること、交流が行える基盤を構築している	関係連携機関が近隣エリアに留まっているため、範囲を広める活動を図る
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	支援後・保護者へのフィードバックに加え、支援MTを定期的に行っている	左記を継続的に実施する
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	定期的な保護者懇談会を開催し、様々な情報交換を実施し情報のアップデートに加え、保護者同士の懇親を深めている	定期開催が5人前後のグループ開催となっているため、2～3名程度の更に小グループの開催も検討していく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	直接の説明に加え、不明点は都度問合せできるようデジタルツールを活用している	左記を継続的に実施する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	直接の説明に加え、追加の質問・お悩みは都度問合せできるようデジタルツールを活用している	左記を継続的に実施する

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	直接の説明に加え、追加の質問・お悩みは都度問合せできるようデジタルツールを活用している	左記を継続的に実施する
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	定期的に対面での面談を行うことに加え、デジタルツールを活用した情報交換も行っている	左記を継続的に実施する
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	定期的な保護者懇談会を開催し、様々な情報交換を実施し情報のアップデートに加え、保護者同士の懇親を深めている	左記を継続的に実施する
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	定期的に対面での面談を行うことに加え、デジタルツールを活用した情報交換も行っている	左記を継続的に実施する
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月の活動通信を行い、行事等の参加希望はデジタルツールを活用し応募しやすい環境整備を都度図っている	左記を継続的に実施する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	書類は鍵付き金庫に保管することを徹底しており、管理者のみ取り扱いができる体制構築をおこなっている	左記を継続的に実施する
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	通園されている園とも連携を図りながら、最も伝達しやすい方法を都度模索しながら推進している	左記を継続的に実施する
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	定期的に周辺地域と連携した集団イベントを開催し、連携体制を構築している	現状、他施設が主体のイベントに参加していることに留まっているため、当事業が主催となって運営できるような組織体制を整える
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	定期的なマニュアル更新・周知を行えるような、役割分担を実施している	各訓練が画一的になりつつあるため、地域の状況に合わせた独自の訓練を行えるよう外部機関と連携した組織整備に取り組む
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	策定したBCPを更新することに加え、定期的な訓練を実施している	各訓練が画一的になりつつあるため、地域の状況に合わせた独自の訓練を行えるよう外部機関と連携した組織整備に取り組む
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	利用に向けた、保護者へのアセスメントに加え、面談時に変化があれば都度相談してもらえる関係構築を行っている	左記を継続的に実施する
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	利用に向けた、保護者へのアセスメントに加え、面談時に変化があれば都度相談してもらえる関係構築を行っている	左記を継続的に実施する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画の策定・定期的な内容更新を行うとともに、本部と連携した研修を推進している	左記を継続的に実施する
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画の策定・定期的な内容更新を都度伝達できるよう、デジタルツールを活用し、家族へ周知を行っている	左記を継続的に実施する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	定期的なミーティングで共有することに加え、対応策まで立案するよう徹底している	左記を継続的に実施する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	本部と連携した、定期研修・ミーティングを行い、職員の知見習得を行っている	左記を継続的に実施する
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	本部と連携した、定期研修・ミーティングを行い、職員の知見習得を行っている	左記を継続的に実施する	